

剣 道

- 1 開催期日 令和7年 7月19日(土)・20日(日)
2 開催場所 ケーブルワン・スポーツパーク
3 実施要項
(1) 日程

1日目…7月19日(土)	8時00分 8時15分～ 9時30分～ 10時00分～	9時20分	開場 竹刀検査 開始式 競技開始	女子団体戦 男子個人戦
2日目…7月20日(日)	8時00分 8時15分～ 9時30分 10時00分～	9時20分	表彰式 開場 竹刀検査 開始式 競技開始	男子団体戦 女子個人戦 閉会式

(2) 競技方法

① 団体戦

- ア 団体戦は、予選リーグ戦・決勝トーナメント戦・決勝リーグ戦とする。
予選リーグ戦は3チームで行い、リーグ内での1位が決勝トーナメント戦に出場する。
- イ 予選リーグ戦の試合
- ・ 試合は三本勝負、時間は3分、延長なし、勝敗が決しないときは引き分けとする。
 - ・ リーグ内における順位のつけ方は次の通りとする。
得点は勝ちチームが2点、引き分けは0.5点、負けチームは0点とし、得点・チームの勝数・勝者数・取得本数の順で、順位を決める。なお、さらに同数の場合は、代表者戦を行う。
3すくみの場合は、最終試合出場者による任意の代表者戦を行う。試合は三本勝負、時間は3分、延長は2分刻みで勝敗の決するまで行う。
2チームの場合は、最終試合出場者による任意の代表者戦を行う。試合は一本勝負、時間は3分、延長は2分刻みで勝敗の決するまで行う。
- ウ 決勝トーナメント戦の試合
- ・ 試合は三本勝負、時間は3分、延長なし、勝敗が決しないときは引き分けとする。
両チームの成績が勝者数、取得本数ともに同じ場合は、最終試合出場者による任意の代表者戦を行う。
 - ・ 代表者戦は一本勝負、時間は3分、延長は2分刻みで勝敗の決するまで行う。
- エ 決勝リーグ戦の試合
- ・ 試合は三本勝負、時間は3分、延長なし、勝敗が決しないときは引き分けとする。
 - ・ リーグ内における順位のつけ方は次の通りとする。
得点は勝ちチームが2点、引き分けは0.5点、負けチームは0点とし、得点・チームの勝数・勝者数・取得本数の順で、順位を決める。なお、さらに同数の場合は、代表者戦を行う。
3・4すくみの場合は、最終試合出場者による任意の代表者戦を行う。試合は三本勝負、時間は3分、延長は2分刻みで勝敗の決するまで行う。
2チームの場合は、最終試合出場者による任意の代表者戦を行う。試合は一本勝負、時間は3分、延長は2分刻みで勝敗の決するまで行う。
 - ・ 一試合目が引き分けの場合は抽選を行い、次の試合を決定する。

② 個人戦

- ア トーナメント戦とする。
イ 試合は三本勝負、時間は3分、延長は2分刻みで勝敗の決するまで行う。

(3) 参加資格

- ① 佐賀県中学校総合体育大会開催基準に準ずる。
② 参加資格の特例を認める。(開催基準7(10)地域クラブ活動)
③ 団体戦は、各地区代表校と地域クラブ活動の代表チームとする。なお、別に定める大会(毎年理事会で決定)で上位4チームが所属する各地区・地域クラブ活動枠に競技力向上特別枠として参加資格を与える。ただし、地域クラブ活動については、出場枠1チームを上限とし、適用する。
④ 個人戦は、各地区代表と地域クラブ活動の代表とする。なお、別に定める大会(毎年理事会で決定)

で上位4名が所属する各地区・地域クラブ活動枠に競技力向上特別枠として参加資格を与える。

(4) 参加制限

- ① 団体戦のチーム編成は、監督1名・コーチ1名・選手5名・補員2名 計9名以下とする。
ア 4人の場合は次鋒を、3人の場合は次鋒・副将を空けオーダーを組む。

(5) 大会規則

- ① (一財)全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、同細則、同運営要領に準ずる。ただし、突き技は禁止する。
- ② 竹刀の長さ、114cm以下、重さ男子440g以上、女子400g以上、剣先の先皮を含めた直径を男子25mm以上、女子24mm以上とし、また、先革の長さは50mm以上とする。当日会場で検査する。(カーボン竹刀の使用を認める。)
- ③ その他は、佐賀県中学校総合体育大会実施要項(令和7年度申し合わせ事項)による。
 - ア 選手申込後のオーダー変更は認めない。ただし、補員との入れ替えは、試合前に総務委員長の許可を得て、審判主任に変更してもらう。(一度退いた者の再出場は認めない。)
 - イ 竹刀の検査は2日間とも実施する。
 - ・ 不正竹刀を使用した場合は、その事実が確認された時点でその使用者を負けとし、その後の試合を継続することができない。(個人、団体とも二本負けとする。)
 - ・ 不正竹刀とは、ビニールやセロテープ等を巻いた竹刀、先芯等、柄頭のチギリ以外の異物を挿入した竹刀、検印(当日)のない竹刀。
 - ウ つばは、直径9cm以下とし、竹刀に固定し、色は革色のものとする。(白色は可)
 - エ 医療上必要と認める場合に限り、足袋・サポーター(テーピングも含む)は両足とも認める。ただし、使用許可になるものは、剣道用で底が布製で見苦しくなく、かつ相手に危害を加えない範囲とする。
 - ・ 剣道用以外の物を使用した場合は、外させる。(取り替えさせる)
 - オ 面ひもの長さは、結び目より40cm以内とする。(色については赤色系は認めない)
 - カ 前垂れに、姓・チーム名(正式学校名またはチーム名の略称)の書いてある名札をつける。(紺または黒地に白字とする。当該チームの選手に同姓がいる場合は、名前の判別できる一文字を明記する。)
 - キ 目印の長さについては、全長70cm以内、幅5cm程とする。
 - ク 試合場には監督1名、コーチ1名、選手・補員7名以内だけ入れる。監督・コーチの服装は、上は白、下はグレー、靴下は紺とする。なお、監督・コーチは監督章・コーチ章を必ず付ける。選手の服装で、道場名等の記入された剣道着および袴の使用は禁止する。
 - ケ 選手呼び出し(放送)後、5分で入場しない場合は棄権とみなし、不戦負けとする。
 - コ 試合場への時計の持ち込み、ならびにサイン等による指示は禁止する。また、選手への声援は禁じ、拍手のみとする。
 - サ 会場内に部旗の掲示をしない。
 - シ オーダー表は、各チームでB5の用紙で準備する。(B5の用紙にチーム名・先鋒～大将および補員の姓を1枚ずつ封筒に入れ、その封筒にオーダーを記入しておく。)

(6) 表彰

- ① 団体戦優勝チームに賞状および優勝旗・代表旗、第2位、第3位に賞状を授与する。
- ② 個人戦第1位および第2位、第3位に賞状を授与する。

(7) その他

- ① 「礼」について
 - ア 第1試合の開始時および決勝戦(決勝リーグ戦の三試合目)の開始時と終了時に、審判員および試合者が整列した直後に主審の号令で正面の礼を行う。
 - イ 団体戦、個人戦において第1試合は、審判長の合図で始める。
 - ウ 団体戦で相互の礼を行う場合、開始時は先鋒と次鋒、終了時は大将のみ面と小手をつけ竹刀を持って行う。
 - エ 試合中は、先鋒戦・大将戦・代表決定戦の場合は、監督・コーチ・選手は正座をして観戦することが望ましい。個人戦においての監督・コーチも同じとする。
- ② 参加料(一人1000円)を大会申込書に添えて、各学校は各地区理事長に持参する。また、地域クラブ活動は代表者等が県中体連事務局に持参する。
- ③ 感染症対策については、本連盟の「感染症等に関わる対応について」を遵守すること。